

58.11.1



ごじょうめ



収穫の秋 (10月、上樋口町内付近)

No.479

発行/五城目町役場 編集/文書広報課 TEL 0188 (5) 2100 (代) (毎月1日・15日発行) 印刷/湖東印刷所

米と食生活

米を中心とした日本の食生活は、栄養の面から見ると、バランスのとれた望ましい姿であると言われます。アメリカなど欧米諸国では、米を中心とする食生活が見直され、日本食ブームが起っているくらいです。

欧米のように肉中心の食事では、肉自体のカロリーが高いため、カロリーのとり過ぎになってしまいがちです。しかし、米は低カロリーなので、バラエティーに富んだ副食を食べてもカロリーオーバーにならずに、栄養のバランスをとることが出来ます。また、ごはんは和食、洋食、中華とどんなおかずにもよくあいます。

日本は、昔から「瑞穂(みずほ)の国」と呼ばれてきました。瑞穂とは、みずみずしい稲穂のことです。館岡恒太郎先生の「若き郷土の歌」の中にも、「馬場目川ゆたかに里をうるおしてうまし瑞穂のわが郷土」と詠まれています。

私たちは、米づくりを通して、米を中心とした独自の文化を築き上げてきました。また、日本でとれる穀物で、自給率が一〇〇パーセントなのは米だけです。

おいしい新米が出回っています。今年是全国的には四年続きの不作ということですが、本町では二年続きの豊作のようです。町内三十カ所で行った作況調査によると、作況指数は一〇二とでており、十アール当たりの収量は、昨年とほぼ同じ五七七キログラムとなっています。

豊作を喜ぶとともに、米を中心とする食生活のよさを、今一度見直してみたいものです。

九月定例
町議会

地震復旧を最重点に補正

施設の名称を清掃センターに

九月定例町議会は九月二十六日から二十九日まで四日間の日程で開かれ、日本海中部地震の災害復旧事業を中心とした一般会計補正予算や、五城目町廃棄物の処理および清掃に関する条例など十一議案を審議し、全議案を原案通り可決、認定しました。

また、五城目町開発公社の経営状況を説明する報告を了承したほか、請願、陳情四件を採択、四件を継続審査、四件を不採択としました。

▼五十八年度一般会計予算の総額は三十七億五千二百二十七万六千円

昭和五十八年度一般会計予算の補正額は、一億五千九百八十九万七千円で、予算総額は、三十七億五千二百二十七万六千円となりました。

今回の補正は、日本海中部地震の災害復旧費を最重点に、国、県補助の変更に伴うもの、緊急を要するものなどについて行われました。

歳入歳出予算補正の主な内容は次のとおりです。

【歳入】

▽国庫支出金：七三六一万六千円増額
▽地震および融雪による災害復旧補助金として、公共土木関係二九五万七千円、農林関係四八八万三千円、都市計画関係一〇万円など。

▽県支出金：一六七九万八千円増額
▽林道整備補助一三三万六千円など。

▽町債：二九一〇万円増額
▽地震災害復旧費二四九〇万円、地震による家屋被災者に対する援護費二八〇万円など。

▽財産収入：一八三万七千円増額
▽素材売却収入など。

▽地方交付税：二五〇〇万円増額

【歳出】

▽総務費：一七七万一千円増額
▽町をピーアールするビデオ製作の委託料など。

▽民生費：六〇九万三千円増額
▽日本海中部地震による家屋被災者に対する援護貸付金二八〇万円など。

▽衛生費：六九三万九千円増額
▽公衆浴場設備改善補助金一七九万九千円、ごみ処理場運営管理費四二万三千円など。

▽農林水産業費：三七三万三千円増額
▽林道整備補助金（西野八幡前地区かん排事業、谷地中開地区かん排事業など）四五六万円、

林道建設費二八〇万一千円、町有林野管理費一〇四万六千二百円など。

▽教育費：六〇六万三千円増額
▽東北、全国大会で活躍した五城目第一中学校のバスケットボール、卓球、体操などの大会出場補助金三三三万五千円など。

▽災害復旧費：一億七〇七万八千円増額
▽地震および融雪による災害復旧費として、農林関係五五四万五千円、公共土木関係四三六万六千円、都市公園関係二二〇万三千円、町民センター関係五三六万四千円。

▽諸支出金：四三〇万三千円増額
▽大手工業用地を取得するための用地購入費

▽土木費：一一四〇万一千円減額
▽都市計画事業の補助決定による減額補正。

▼五城目町災害弔慰金の支給と災害援護資金の貸付に関する条例の一部を改正

災害弔慰金と援護資金貸付限度額についての法律と施行令が、昭和五十七年十二月に改正されており、町の条例もこれに準じた額に改正されました。この条例は、昭和五十八年四月一日以降に発生した災害から適用になります。

改正後の弔慰金の額は次のとおりです。（）内は改正前の額。
▽生計維持者死亡の場合
三百万円以内（二百万円以内）

▽その他の場合
百五十万円以内（百万円以内）

▽災害援護資金の貸付限度額
六十万円（百八十万円）
（四十万円（百三十万円））

▼五城目町廃棄物の処理および清掃に関する条例の全部を改正
現在建設中のごみ処理施設は、まもなく完成する見込であり、この機会に昭和四十八年制定の五城目町廃棄物の処理および清掃に関する条例について、全条文が改正されました。

特に、ごみ処理施設について、その名称や位置、職員などを定め管理運営に支障のないように配慮されました。また、一般廃棄物処理業者などについての規定、処理手数料、利用手数料など明確にしています。

▽ごみ処理施設の名称と位置

五城目町清掃センター
内川小倉屋布沢二七番地

▽ごみ処理手数料

・町指定・あっせんポリ袋 一枚につき二十円
・町指定・あっせん標せん（不燃） 一枚につき二十円

▽施設利用手数料

（百キログラム未満の場合や、百キログラム未満の端数については、百キログラムとして計算されます）

▼五城目町国民健康保険条例の一部を改正

国保助産費の支給について、現行規定では、単に当該事由が発生した場合に支給するとなっていました。



町で取得することになった大手工業用地



完成間近なゴミ処理施設の清掃センター

す。
この改正は、国保以外の他の保険などとの重複支給を防止するため行ったもので、他の保険などで助産費を支給した場合は、国保では支給しないという一項が加えられました。

▼五城目町営住宅設置条例の一部を改正

直後に建設された建物で、老朽化が著しく、現在、使用されていません。
▼大手工業用地の取得
大手工業用地二五、三五八・七七平方メートル、町が秋田県町村土地開発公社を介し、九千七百十三万八千円で取得することに決まりました。

▼この用地は、昭和四十八年に町が、農村工業導入促進法の趣旨から、五城目町開発公社に先行取得させていたものです。用地の所有

権が町にないことが、企業側の不安要素の一つになっているのではという配慮と、町の開発公社が取得してから十年を経過している事情などから、今回取得することにしたものです。
▼三路線を町道に認定
町道高崎広ヶ野線と黒土小倉線の道路改良工事が一部完成し、路線の区域が変更になったため、道路法に基づいて旧道部分を町道に認定したものです。
町道に認定した路線は次のとおりです。

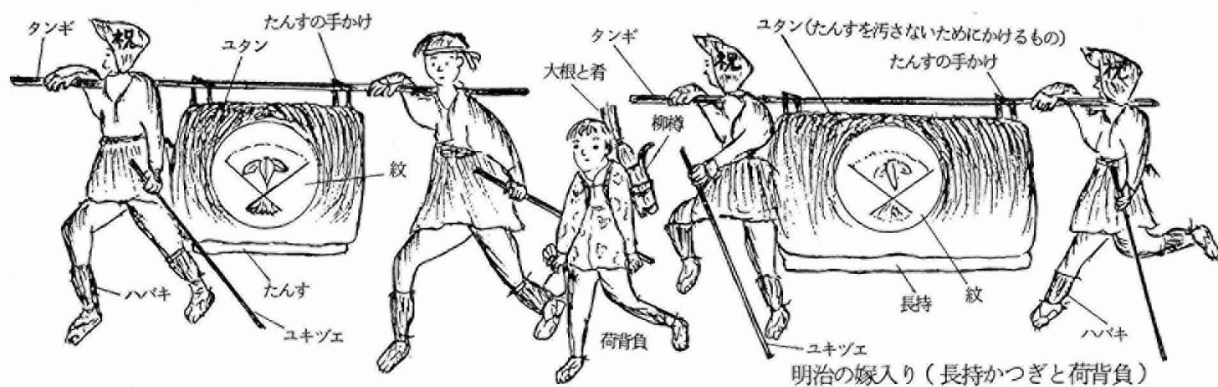
- ▽中高崎線 延長二二五m
- ▽黒土小倉下支線 延長 六二m
- ▽小倉五百刈線 延長二八〇m

請願・陳情

今回提出された請願三件、陳情二件のうち三件を採択、一件を継続審査、一件を不採択にしました。また、継続審査となっていた請願と陳情は、一件を採択、三件を継続審査、三件を不採択にしました。採択した請願、陳情の件名は次のとおりです。

- ・国鉄の貨物輸送確保に関する請願
- ・校舎（杉沢小中学校）改築についての請願
- ・健康保険制度改悪反対に関する陳情
- ・厚生年金給付水準の見直しに関する請願

戌が村の落書



明治の嫁入り（長持かつぎと荷背負）

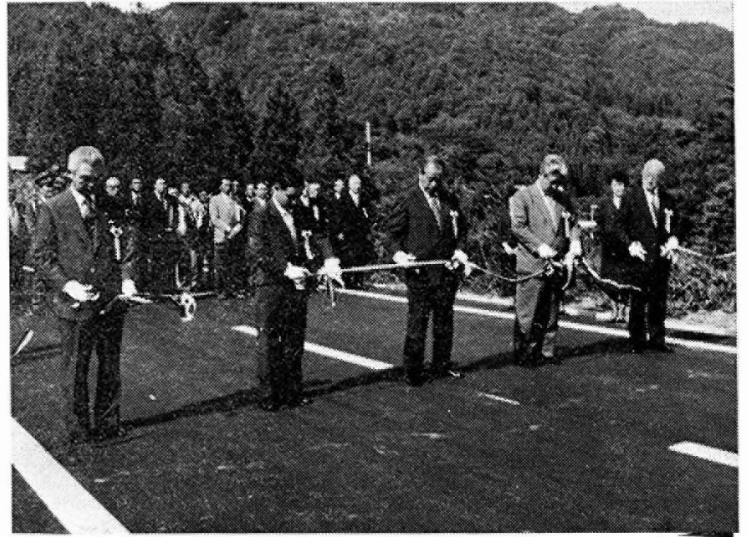
（カット・題字＝畠山鶴松）

畠山鶴松 (7)

御祝儀の柳樽について
当時の御祝儀は、柳樽に限られたもので、今もまれに使用する人を見ることもあります。明治大正当時はほとんど柳樽を使用したものです。当時は普通のお客さんでも、一升樽をぶらさげて歩いたもので、山間部では一升ビンは見ることのないものでした。
御祝儀用の樽は、元は柳で造ったものだそうだが、今はほとんど杉のようです。簞笥かつぎの歌にもあったように「祝いの柳枝も栄える根も開く」と唄われている柳は、根が丈夫で川端のくずれやすいところに植えられていて、雪の消間に花が開いて、早春に芽を出す勢いの良い木で、たくさんの新枝を出すものだから、縁起の良い事を意味したのだと伝えられています。
麻糸の上皮を取る「オシキ板」というものがあります。この板は柳で造られているもので、木は柔らかで糸がいたまないうようにと使われています。
麻糸は魔よけになるもので、神官が御祈りの時、長い麻糸で家を「明の方」から払い浄めることも、柳の板を使うことも、意味あるように思われます。
お嫁さんは、しだれ柳のようにしなしなに、柳のごとくに長命であることにつながるように、考えたことだと思えます。
嫁の祝い事に火事の話とか、火のあやまちのある時は、嫁にいざごさがあるとか、離縁になるとか伝えられています。慎しむということです。

恋地バイパス完成

山ぎわを通る1200メートル



県道秋田八郎湯線の恋地バイパスが完成し、十月十五日、現地での開通式が行われました。

開通式には、町内の関係者をはじめ、前参議院議員の野呂田秀成氏、県土木部関係者などが出席、テープカットの後、祝賀会場の恋地山荘までパレードを行って完成を祝いました。

県道秋田八郎湯線は、恋地地区内では道幅が狭く急カーブで、冬期間はスリップ事故の危険もありましたが、バイパスの完成によってこの不便は解消されました。

バイパスは延長千二百メートル、幅員七メートル、恋地町内の南側を山ぎわに沿って通り抜けます。

昭和五十二年にバイパス計画が策定され、五十三年から国庫補助事業として用地買収に着手、地権者の協力のもとに五十五年に工事が始まりました。総事業費二億

九千百万円。

恋地地区には開設スキー場があり、冬期間だけで二万人を超えるスキー客が訪れます。さらに、奥地には太平洋山自然公園と一万二千ヘクタールに及ぶ国有林や民有林をかかえています。

バイパスの完成は地域住民の利便だけでなく、産業経済の発展、奥地開発、観光開発に關しても、大きく貢献するものと期待されています。

また、現在、富津内千日から馬場目坊井地に抜ける入通りの改修工事が進められています。秋田八郎湯線の水沢、恋地間の整備とあわせて、これらの改修工事が完了すれば、環状線としての機能も持つこととなります。

写真

テープカットを行って開通を祝う

秋の火災予防運動

十一月六日から十二日まで、全県一斉に秋の火災予防運動が行われます。

この運動は、これからは日ごと寒くなり、火災が起りやすい時期を迎えるため、町内のみならず一人一人から、防火の意識をたかめてもらい、悲惨な焼死事故や貴重な財産の損失を防ぐことを目的に展開するものです。

運動期間中、消防署員、消防団員が、一般家庭の予防検査（火の元検査）、特殊建築物の立入検査を行い、火気使用器具類の取り扱いや設置状態などを点検し、不備欠陥の場合は正しい取り扱い方法を

指導します。

また、週間最終日（十二日）には、町内七カ所で火災を想定した火災防ぎ訓練が行われますので、町内のみならずのご協力をお願いします。火災予防のため次のことを

点検は防火の

はじまりしめくくり

を守ってください。

△家庭では▽

- 家庭の防火についてみんなで話し合いましょう。
- 老人、子ども、身体の不自由な人は避難しやすい場所に休ませ

ましよう。

- ストーブのまわりに干物など燃えやすいものを置かないようにしましよう。
- 石油ストーブへの給油は必ず、火を消してから行いましよう。

- たばこの投げ捨てや寝たばこは絶対にやめましよう。
- 天ぷら油などによる火災の消火方法について知っておきましよう。
- 寝る時や外出する時は、火の元

を確認しましよう。

- 消火器や火災警報器、ガス漏れ警報器などを備えておきましよう。
- △職場では▽

- 防火管理者や火元責任者を定めて火の取扱の責任を明らかにしておきましよう。
- 消防計画をたて、防火教育や実際に即した消防訓練を実施しましよう。
- 火を使用する場所や設備、器具を点検し、安全を確認してから使用しましよう。

- また、期間中午後六時にサイレンまたは半鐘を鳴らしますので、今一度火の元を確認してください。

サラ金を考える

サラ金の返済に困って自殺したり、銀行強盗したりする事件が、毎日のようにテレビや新聞などで報道されます。サラ金のために自分の人生を狂わしたり、家庭を破壊したりする例は、絶え絶えありません。十一月からサラ金規制法が施行されました。これを機会にサラ金について考えてみます。

サラ金被害を防ぐために

(1)

健康保険証や身分証明書を見せるだけで、無担保で借りられる便利さから安易に借り、金額がどんどんふくらんで、返済に困っている人が急増しています。

サラ金の特徴は、だれにでも容易に金を貸すかわり、金利が非常に高いこと、返済が一日でも遅滞すると、待たなしで厳しく取りたてるといことです。

事故や急病などで不意にまとまったお金が入用なときは、押印する前に金銭貸借の契約書をよく読んでください。契約書には利息や

返済方法が当然明記されていますので、自分の返済能力を冷静に考え、安易に借りないことが何よりです。サラ金の場合にはなおさら慎重にしたいものです。

参考までに利息計算をしますとサラ金規制法が施行された十一月以降はいくらか改善の方向にあるとしても、一部業者の間では、出資法の金利を一部業者の間では、仮に二十万円借入した場合、一年間の利息が二十一万九千円（利率一〇・九・五パーセント）となり、元利返済額では四十一万九千円にもなるのです。

いま、家族や知人がサラ金問題で悩んでいる場合は、できるだけ早いうちに、次の相談窓口に連絡し、専門的立場から措置してもらい、ことが、被害を最小限に防ぐこととなります。

サラ金の相談窓口（公的機関）
・秋田県商工労働部 商工課 電話 60-11686
・サラ金問題対策センター
秋田地方裁判所内 電話 62-12103

警察署の困り事相談所
電話 52-14101
秋田県警察本部 保安課 電話 63-11111



町内標準地価を公表

上町一平方メートル七万四千円

県では、国土利用計画法に基づいて、毎年七月一日現在の基準地（三九三地点）の標準地価を判定



し公表していますが、昭和五十八年度の五城目町関係分は、次のとおり公表されました。
当町の基準地は、六ヶ所あり、住宅地は東磯ノ目町、畑町、広ヶ野、築地町、商業地は小池町となつています。また、今年度から新たに林地が加わり内川湯ノ又地区に設けられました。
なお、国土利用計画法の規定により、一定面積（都市計画区域五、〇〇〇平方メートル、都市計画区域以外の区域一〇、〇〇〇平方メートル）以上の土地売買等の契約を締結しようとする場合は、あらかじめ町長を経由して、知事に利用目的と売買予定価格等を届け出ることになっています。この場合に、標準地価が売買予定価格の適否の

写真 小池町の基準地付近

町内基準地における標準価格

利用種目	所 在	1㎡当りの価格	
		S58年	前年比
住宅地	五城目町上樋口字向川原424	18,700円	3.8%
〃	〃 字七倉105-6	21,600	新基準地
〃	〃 富津内下山内字奈良崎47-11	12,500	新基準地
〃	〃 字稲荷前53-2	13,200	3.1
商業地	〃 字上町60	74,000	2.1
林地	〃 内川湯ノ又字小川口沢67	10 a 当り 60,000	新基準地

農地は無断で転用できません

農地法では、農地を農地以外のものにする場合は、農業委員会を経て、県知事または、農林水産大臣（二ヘクタール未満農地知事、二ヘクタール以上農林水産大臣）の許可を受けなければならないことになっていました。

「農地を農地以外のものにする」ということは、すなわち区画形質の変更を伴って、農地を宅地や道路、山林にしようとする場合は、転用という許可が必要です。届け出をしないで、無断で転用することは、法律により罰せられます。

商工会だより

優良従業員を推薦してください

推薦してください

五城目町商工会では、第二十二回商工業優良従業員表彰式で、永年同一事業所に勤務し業務内容の優秀な従業員を表彰しますので、事業主の方は次の条件に従って推薦してください。推薦用紙は商工会にあります。

▽勤続年数

工場 10年以上
商業、サービス業、7年以上
（ただし）理美容は5年以上

▽推薦人員

工業：常時使用従業員が100人以上の場合3名、50人以上100人未満の場合2名
商業・サービス業：常時使用従業員が30人以上の場合2名
その他：1名
▽締切 11月15日（火）

五城目町へようこそ

- 9月22日 上小阿仁宮林署（30人）懇親会：町民センター
- 9月23日 井川町浜井河田中育成会（50人）キャンプ：森山キャンプ場
- 9月25日 土崎建築技能組合大工支部（22人）レクリエーション：赤倉山荘
- 昭和町大郷守婦人会（12人）レクリエーション：赤倉山荘
- 第3回男鹿・南秋高校バレーボール大会
- 会場：広域体育館
- 9月26日 秋田市追分農協婦人部（15人）研修会：赤倉山荘
- 9月28日 琴丘町社会福祉協議会（23人）研修会：赤倉山荘
- 琴丘町高屋敷老人クラブ（19人）宿泊研修会：赤倉山荘
- 9月29日 昭和町大郷守老人クラブ（21人）懇親会：赤倉山荘
- 昭和町老人クラブ（40人）視察：森山森林公園
- 9月30日 秋田市浜田滝ノ下町内会（12人）視察：役場庁舎
- 南秋田郡町村会職員卓球・バレーボール大会
- 会場：広域体育館
- 10月1日 南秋電子KK（53人）レクリエーション：農村環境改善センター
- 東北肥料（10人）宿泊研修会：町民センター
- 秋田商業高校水泳部（5人）水泳練習：温水プール
- 鈴木部品（20人）レクリエーション：森山キャンプ場
- 10月1日・2日 土崎中学校（7人）水泳練習：温水プール
- 10月4日 東北電工（36人）休憩：恋地山荘
- 秋田県国保連合会審査課員（2人）視察：役場庁舎
- 秋田市商工観光課（3人）視察：役場庁舎
- 10月5日 秋田市十七流城東町内会（10人）視察：役場庁舎
- 10月9日 秋田市将軍野栄町内会（40人）研修会：赤倉山荘
- 八郎湯町一日市技能組合（16人）レクリエーション：赤倉山荘
- 10月9日・10日 木彫「風の子」作者長谷川島先生夫妻 贈呈式に出席のため来町
- 10月9日 土崎中学校水泳部（26人）水泳練習：温水プール
- 10月10日・11日 千秋会館（44人）レクリエーション：赤倉山荘
- 10月11日 横手商工会議所婦人部会（12人）視察：役場庁舎
- 10月13日 秋田市将軍野一区婦人会（22人）研修会：赤倉山荘
- 田沢湖町監査委員（4人）視察：役場庁舎

カメラレポート

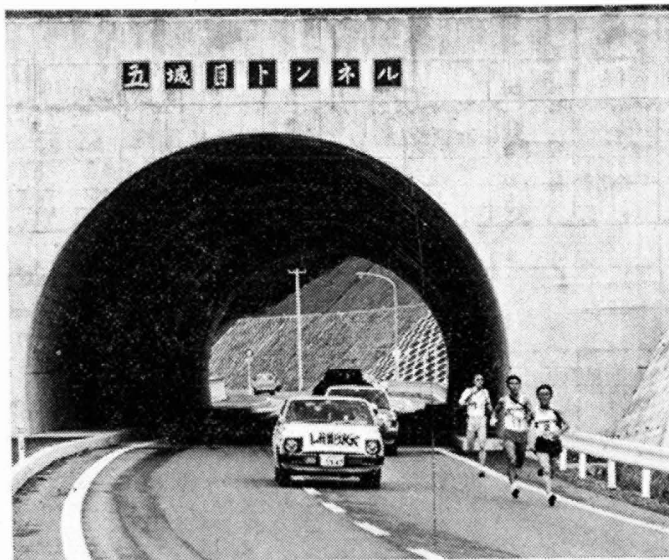


整備進む国道を走る

五城目・上小阿仁駅伝

第19回五城目・上小阿仁駅伝競走大会は、10月23日、上小阿仁村健康増進トレーニングセンター前から広域体育館前までの5区間30.8キロのコースで行われました。

参加チームは38チーム、町内からは3チームが出場しました。選手たちは時おり冷たい雨が降る中、2組に分かれてスタートし、整備が進む国道285号線走りタイムを競い合いました。(大会成績はスポーツコーナーに掲載)



五城目トンネルを抜けゴールを目指す



町長に表彰の報告をする小玉さん

小玉さんに 知事から表彰状

成人病予防の功績認められる

元役場職員の小玉テツさん(下高崎)に、10月5日、大館市民文化会館で開かれた第12回県民健康推進大会で、佐々木知事から表彰状が贈られました。

小玉さんは、昭和45年から今年8月に役場職員を勇退されるまで、保健衛生関係の仕事にたずさわってきました。今回の表彰は、長年にわたって成人病予防に尽した功績が認められたものです。

お知らせ

▽相談事項
▽会場 町民センター
▽実施年月日 11月9日(水)
午前10時～午後2時
▽相談事項 肢体障害者の巡回相談
肢体障害者を対象とした巡回相談が行われます。
整形外科医師の診断、診断書作成などが無料で受けられます。すでに身体障害者手帳を交付されている方は当日持参してください。

▽展示資料
古い林業器具、農機具、林業関係の写真、古文書、古い作業着、昔の教科書、動物や鳥のはく製、出土品、鎧(よろい)、兜(かぶと)、名刀
▽展示資料 古い林業器具、農機具、林業関係の写真、古文書、古い作業着、昔の教科書、動物や鳥のはく製、出土品、鎧(よろい)、兜(かぶと)、名刀

森林資料館の展示物を 探しています
町では、森林資料館の展示資料として次のようなものを探しています。お持ちの方、お心当たりの方は役場林政課(電話52-2100)へご連絡ください。



立冬 11月8日
冬の気が初めて立つという意。

▽期日 11月23日(水)
▽時間 午後1時開式
▽会場 広域体育館3階体育室
五城目町体育協会では、十一月二十三日(水)「勤労感謝の日」体協二十五周年記念式典を開催し、過ぎし二十五周年をふり振り返り、今後の躍進を期することになっています。スポーツを愛好する町内みなさんの自由参加を望んでいます。

体協25周年記念式典
自由に参加できます
訓練受講者は、月額約9万2千円の訓練手当が支給されます
▽手当 訓練受講者は、月額約9万2千円の訓練手当が支給されます
▽応募資格 農業従事者で農業以外の安定した職業への就業を希望する人
▽受付 定員(5人)になり次第締め切ります

農外就業訓練
農外就業訓練が、次の内容で行われます。この訓練を受けるには農業者資格認定証明書が必要ですので、訓練を受けた方は、農業委員会(電話52-2100)へ申し出てください。
①医学的診断、判定
②手帳交付、補装具交付について
③福祉手当、福祉年金について
④その他

カメラレポート

石井くん2人が入選

電話の児童画コンクール

「未来の電話」と「わたしたちの町の電話局」の児童画コンクールで、五城目小学校の石井かつひこ君（2年）と石井雅樹君（3年）の作品が、電報電話局長賞に入選しました。

このコンクールは、東北の加入電話300万台突破を記念して、東北電気通信局が小学生を対象に行ったもので、東北各地から3000点以上の応募がありました。



表彰状を手に雅樹君とかつひこ君（左）



「風の子」像の前であいさつをする長谷川氏（中央）

「風の子」像の作者来町

贈呈式に長谷川夫妻を招待

役場庁舎の玄関ホールに展示されている「風の子」像の作者である長谷川昂氏が、10月9日、夫人を伴って本町を訪れました。

「風の子」像は、役場庁舎の新築落成を祝って、町内の土木建設業者18人が町に寄贈した木彫りの作品で、長谷川氏夫妻は10日に役場で開かれたこの贈呈式に招待されたものです。

長谷川氏は、現代彫刻家の第一人者で、東京在住、74歳。鉈（なた）彫りの手法を現代に生かしている彫刻家として知られています。

「風の子」像もクスの木を鉈を使って製作しており、高さ124センチ、時価700万円相当の作品です。氏の作品では、木像のほかに白セメントや大理石の観音像も有名です。

お知らせ

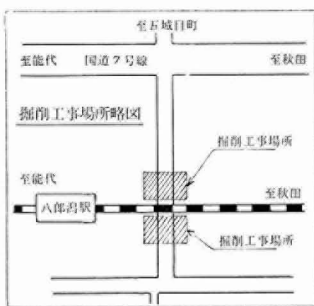
特に午後二時三十分から記念講演が行われますので、多数の聴講をお願いしています。

- ▽期 日 会場は式典と同じ
- ▽時 間 午後2時30分から
- ▽講 師 卓球世界チャンピオン（秋田市出身）木村興治氏
- ▽演 題 「スポーツと私の人生」

踏切付近を掘削工事

東北電力（株）五城目出張所では現在、一日市、真坂、今戸地区において、事故時の電力供給対応と供給電力の増強工事を進めています。この工事の一つとして、次の日程で荒耕地踏切前後の掘削工事を行います。通行止めにはなりません。通行する場合は注意してください。

▽工事期間 10月24日～12月20日



自治医科大学

入学生の募集

自治医科大学（栃木県河内郡南河内町栗原寺33111）電話0285-4412111）では入学者を募集しています。

▽応募資格 高等学校を卒業した者および

昭和59年3月卒業見込みの者またはこれと同等以上の学力があると認められる者

▽定 員 100名

▽学生募集要覧の交付場所 秋田県福祉保健部医務課 秋田市山王四丁目1-1 電話0188（60）1366

▽出願書類の受付 昭和59年1月6日～1月13日

新入学児童の健康診断

新入学児童の健康診断が各小学校で行われます。日程は次のとおりです。

- ▽五城目小学校 11月24日（木）午後1時半～
- ▽馬場目小学校 11月18日（金）午後2時半～
- ▽杉沢小学校 11月18日（金）午後1時
- ▽富津内小学校 11月11日（金）午後1時半～
- ▽内川小学校 11月29日（火）午後1時半～
- ▽大川小学校 11月9日（水）午後1時半～

日曜営業給油所（11月）

五城目・八郎湯地区

- 6日 五城目町農業協同組合 電話52-3444
- 13日 （有）丸六物産 電話52-4016
- 20日 （株）伊藤商店（五城目） 電話52-4125
- 27日 （資）晶山石油店 電話52-3022

カメラレポート

「はだし」で砂遊び

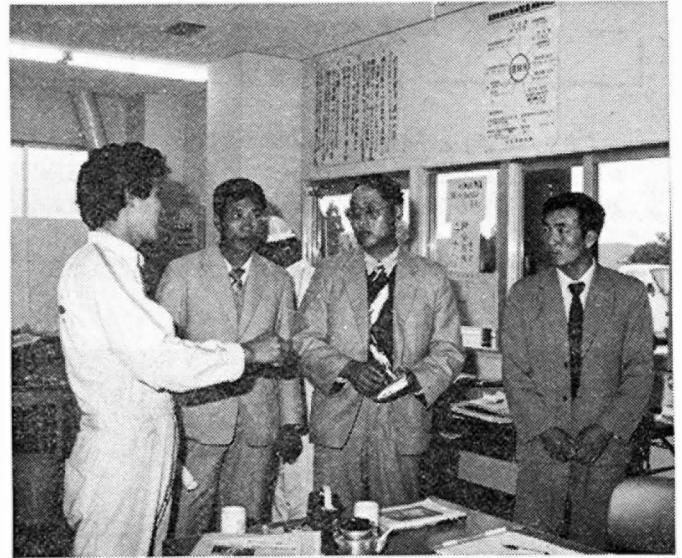
馬場目保育所

馬場目保育所の子供たちは、砂遊びなど外で遊ぶときは、「はだし」です。

これは、子供たちが自発的に行うようになったもの。土の上を「はだし」で歩くことは、扁平足の予防になるといわれています。保育所の先生たちは、「はだし」が子供たちの成長により効果をもたらすことを期待しています。



「はだし」になって遊ぶ子供たち



カントリーエレベーターで説明をうける研修生

中国からようこそ

カントリーなどを視察

中国蘭州市からの農業技術研修生 3 人が、10月17日、本町を訪れ、ハウス栽培やカントリーエレベーター、縫製工場を視察しました。また、山森や森林資料館、恋地山荘にも足をはこび、町民センターに宿泊しました。

この研修生は、キョウさん、ウさん、オウさんの 3 人。姉妹都市である秋田市の農家に今年の 5 月から滞在して、日本の農業について勉強しています。

誕生 おめでとう ございます



門前 斎藤 遙 9、15
岡本 津田 美保 9、20
中村 佐藤志保子 9、25
興志美 えみ子 二女

下樋口 笹川 美穂 9、30
東磯ノ目町 高澤 彩 10、4
真 初枝 長女
おくやみ申し上げます

献血ありがとうございました



勝田 重信 42
猿田 仁 5
佐々木義春 3
縮岡 敦 15
伊藤 鶴雄 7
菅原 義国 7
小玉 茂 3
鳥井 孝一 7
千田恵美子 3
佐藤 義孝 5
佐々木久米雄 18
宮腰 俊一 35
武石 正 12
猿田 実 27
渡辺 鉄雄 17
沢田石清樹 12

石井 政則 16
石川 ミヨ 2
伊藤富喜子 6
石井 久雄 25
工藤 誠一 12
菅原 秋雄 43
村上 敬二 4
松橋 兼己 11
佐藤 秀尚 9
小浜 良男 21
縮岡 和広 3
縮岡 正和 13
伊藤 一志 30
伊藤 準一郎 22
兄玉多津子 7
縮岡 正美 25

京野孝之助 18
大石 正広 11
佐藤 貴子 5
松田真志美 2
兄玉 文彦 34
小浜 信男 6
島山三枝子 10
猿田 俊彦 11
伊藤 清 11
石川 久喜 14
小畑 武博 11
門間 鉄郎 11
和田 喜弐 16
太田 栄悦 16
佐藤与志美 9
齊藤 広昭 4
長谷川 誠 16
小玉康一郎 7
茂木二三男 11
川村 信啓 2
伊藤 彦磨 12
縮岡 金敏 24
赤坂 賢治 5
宮腰 精治 5
兄玉 英一 14
大原 哲雄 1
大森誠治郎 50
佐々木重雄 11
佐々木重雄 9
龜田 力 9
田仲 寿 11
嶋崎喜代光 17
伊藤 幸男 5
山崎 欽一 1
齊藤 伝蔵 40
渡辺 鉄男 3
北嶋透志雄 3
松田 進 11
伊藤 静男 15
加藤 繁 11
西井 信夫 11
伊藤 武次 12
猿田 和子 2
奈良登志子 33
工藤 春男 1
山田 ヒサ 3
佐々木輝毅 3

こんどは
生涯教育奨励員です

③

生涯教育奨励員は、生涯教育の推進と学習活動の充実のために町が委嘱した方たちです。現在、町内には二十人の生涯教育奨励員がおり、学習グループの育成、学習活動の世話や相談などを行っていただきます。

グループの育成
松橋 武



生涯教育とは、心の豊かさを求めて、生きがいある生活を作りあげることがねらいであると思う。五年前、その奨励員の委嘱を受けて、非才な私に、この責務が果せるかどうか、心配せずにはいられた。しかし、先輩たちの指導をこいながら、まず自分のために、やってみようという引き受けた。以来、各種研修会に出席して、その都度役割の重大さに、特技もない私は、暗中也素の状態の時を過ごした。

公民館の依頼で、書道通信講座の受講生を募り、十名余の参加者を得、中村先生の協力により、地域の子どもたちに、月二回の書道教室を開いて三年になる。地域の人達から喜ばれ、少しは生涯教育の一助になっているのではないかと。

と、ひそかに喜んでいる。また、一昨年、公民館の指導を得て、高校生を持つ親の会の結成を見る事ができた。これも私の喜びの一つである。

社会情勢の多様化をふまえて、この先、不安の要素がたくさんあるが、日ごろの考え方や心配事を、互に打ちあけ、その打開策を見出しながら、活動が続けていこうと心に決めている。

私は生涯教育奨励員として、すべての町民に生涯にわたる学習の機会と、学習の場を与え、地域に即した「一人一学習」の運動をすすめていこうと思っている。そのためには、まず、グループ作りと、グループの育成に頑張ってみよう。あせらず、ゆっくり輪を広げ、一年一年その輪が大きくなることを願って励みたいと思う。それが私の生きがいである。

趣味学習を中心に
加藤 信 哉



野田町内の趣味同好会(将棋グループ)を結成して早や七年目、月一回定例会を開催している。会

員は少ないが、全員よくまとまっている。

六月には石崎町内会将棋同好会と交流を深めるため親善試合を行った。試合後いろいろと両地域の事など語り合い、夜遅くまで続いた。

九月には年一回の総会を行う。各自の腕の見せどころである。趣味活動こそ、人生を明るく、健全なものにする...と言うスローガンのもとに意欲を燃やしている。

夫婦同伴の家庭バレーボール(全町大会、町内対抗大会)に参加する事に、積極的に手助けしている。野田町内では、若夫婦の仲間と住民の連帯を強める目的で、古き者から新しき者へ選手の入替えを行った。現在の成績は比較的に悪いがいずれは練習して、強力な良いチームにできあがる事を目標にして頑張っている。

部落活動では、文化部を担当している。今年で三年目であるが、毎年八月十三日のお盆には、野田町内会の歌つこ祭りを行う。文化部落主催で青年会、若妻会、婦人会、部落会の各団体が丸となって、みんなで歌ったり、食べたり、飲んだりして、楽しい一夜を過ごし、みんなに大変喜ばれている。

現在、身の回りがいろいろと多忙になってきたが、趣味学習を中心に自己学習、奨励指導を、日常的に実践したいものだと考えている。

スポーツコーナー



第19回

五城目・上小阿仁駅伝

10月23日

- 一位 鷹巣陸協 1時間38分37秒
 - 二位 若美陸協 1時間39分35秒
 - 三位 秋田鉄道管理局 1時間40分34秒
 - 四位 五城目町陸協 1時間40分56秒
 - 五位 秋田大学 1時間42分11秒
 - 六位 合川高校 1時間43分51秒
 - 七位 森吉陸協 1時間44分06秒
 - 八位 綴子走友会 1時間45分13秒
 - 九位 八幡平石鳥谷 1時間45分24秒
 - 一〇位 八巻板金 1時間46分27秒
 - 二〇位 馬場目走友会 1時間51分51秒
 - 二七位 五城目水走会 1時間53分30秒
- 【区間ラップ】
- 一 区 8900m 28分02秒
 - 二 区 5600m 18分29秒
 - 三 区 4200m 12分04秒
 - 四 区 4800m 13分43秒
 - 五 区 7300m 23分02秒
- 加賀正良(秋田鉄道管理局)

南秋田郡秋季体育大会

新人戦

- 【五城目一中】
- ▽団体優勝
- 体操男子、体操女子、剣道女子、卓球男子、バスケット男子、バレー男子、野球
- ▽同準優勝
- 陸上男子、陸上女子、卓球女子、テニス男子、テニス女子
- ▽同三位
- 剣道男子
- ▽個人一位
- 館岡 隆範(体操)
- 本田 泉(バレー)
- 土橋 朋子(剣道)
- 沢田石 悟(二年800M、二年1500M)
- 小林 敬子(一年100M、一年走高跳)
- 原田 龍子(一年100MH)
- 工藤 まゆみ(二年100MH)
- 館岡 道子(一年走幅跳)
- 一年女子400M R
- ▽同二位
- 畑沢 博紀(体操)
- 今村由紀子(体操)
- 工藤 祐治(二年100M)
- 伊藤 悟(共通400M、二年走幅跳)
- 松橋 寛樹(一年800M)
- 工藤 守(二年1500M)
- 小原 仁美(二年200M)
- 佐藤美香子(二年800M)
- 佐藤千鶴子(一年800M、一年走幅跳)
- 小浜 亜紀(二年走幅跳、二年砲丸投)
- ▽同三位
- 伊藤 美静(体操)
- 沢田石富士美(体操)
- 猿田 浩也(卓球)
- 石井 重治(一年100M、一年走幅跳)
- 工藤 祐治(二年200M)
- 伊藤 普(共通400M)
- 川上 義則(一年800M)
- 松橋 寛樹(一年1500M)
- 猿田 哲也(二年走幅跳)
- 一年男子400M R
- 二年男子800M R
- 小原 仁美(二年100M)
- 工藤 まゆみ(二年砲丸投)
- 二年女子400M R
- 【杉沢中】
- ▽団体準優勝
- 卓球男子
- ▽個人一位
- 佐々木重人(卓球)
- ▽個人三位
- 佐々木浩二(卓球)
- 【富津内中】
- ▽団体三位
- 卓球男子、バレー女子
- ▽個人二位
- 伊藤 一仁(卓球)
- 第9回
- 全県中学選抜招待
- 新人野球大会
- 10月10日 男鹿市営球場 (町内関係分)
- ▽二回戦
- 五城目一 5-1 男鹿東
- ▽準決勝
- 五城目一 1-0 士崎
- ▽決勝
- 五城目一 3-0 八郎潟

みんなの広場

古里の秋

小林 露 丘

(一) 初秋

季節の変化は忘れることなく訪れる

稲穂が重くたれている
黄金の風がさわやかに頬をなでる

青い高い空
山が美しい
川の水が澄む

緑の木々も未だ色を失わない
森の杉木立の中にお城がくつきり浮ぶ

桜の病葉(わくらば)が散る
雲の流れの速さに

秋のおとずれを告げる
コロギが夜通し鳴き続ける

(二) 中秋

名月は姿を見せずに過ぎた

コンパインの音が響く

一株一株に豊作の念いをこめて
稲刈りが始まる

大豆の葉も色づく

赤とんぼが無数に飛び交う
あと何日

否何時間の生命であろうか
屈託のない楽しさである

栗の実が熟れている
アケビが熟れている

山ブドウが熟れている
味覚の秋食欲の秋

朝夕のはだ寒さに秋の深まりを知る
木の葉は赤に黄に色づいている

(三) 晩秋

売り出しのチラシがいっぱい
折り込まれ

飛行機からの声もする

生産と消費はいつも隣り合せ
木の葉が散る

バラバラと散る音に寂寞を感じる
色とりどりの落葉を拾って喜んだ幼年期

散る葉に感傷を起した思春期
落葉を焚き黙然と物思う老期

晩秋は人の世の黄昏を告げるように
寂寞を感じる

友が世を去ったのも
母が去ったのもこの季節

柿の葉が散って
実が色づいているこの季節であつた

遠山のいただけは雪に覆はれている

川柳すずむし吟社

メモ消して今日の生活が過去となる
この土地に生きて地酒とドンパ節
塗り替えた古傷などは口にせず
結論はもう急がない齢の功
着飾った蝶の前身触れずおく
張り替えの障子を開ける秋の月
カラオケのマイクはなきぬ酒の癖
三浪がピカソの絵となる白い部屋
ながらえて幾つか越えて来た地獄

鍋谷 福枝
草皆 チエ
松田ウタ子
佐藤 貞
福島 ミツ
藤原 文
佐々木敏子
一関 北柳
平川みつえ

その場では言えぬ言葉を抱いて寝る
ベットから家業指示して父達者
ユニホーム着れば私も一人前
体重を気にして秋の味覚食う
出る首を叩く峰打ちだつてある
痛くない腹なら探ぐる第三者
居酒屋で酔う肩書きのない名刺
満ちたりているから政治に無関心
見るだけの毛皮を撫でる女です
日の丸を信じて逝つた兵の墓
野菊摘む少女に蝶が離れない

千貝みどり
渡部 光人
本庄 湖水
佐藤はる江
今野 一城
荒川紫陽花
猿田 寒坊
坂谷 竹林
渡辺 松風
越後 一蝶
渡辺 銀雨

町の行事予定

11月3日(日) 18日

- 3日(木) 町功労者表彰式典(秘書)前10時、広域体育館
- 全県登山競技大会(社会教育)前9時、広域体育館前4日(金)
- 産業文化祭褒賞授与式(農政)後1時、広域体育館
- 6日(日) 秋の火災予防運動(消防)12日
- 7日(月) 親子体力づくり教室(社会教育)18日 前9時30分、広域体育館
- 12日(土) 町消防団火災防ぎょ訓練(消防)後1時、各地区
- 16日(水) 税務行政懇談会(税務)後2時、役場4階大会議室
- 小作料改訂協議会(農業委員会)後1時30分、役場4階会議室
- 18日(金) 栄養改善学級(保健衛生)後1時、町民センター



善意銀行 預託者

- 八月二十九日 十万円 大川三三 伊藤準一郎 (亡母トミエ様の香典返しとして)
- 九月一日 五万円 落合 伊藤武之助 (亡母マネ様の香典返しとして)
- 九月八日 一万円 田町池内 利典 (亡父利雄様の香典返しとして)
- 九月二十九日 千五百円 新畑町 伊藤 光代 (結核検診推進員活動費を寄附したもの)
- 九月二十六日 映画観賞招待 三十名 紀久栄町 菊地耕二
- 十月十二日 二万円 米沢町 米沢 定弘 (亡母フミ様の香典返しとして)
- 十月十七日 二万六千円 町村 伊藤 一郎 (亡妻チヨエ様の香典返しとして)



老人ホームに 寄せられた善意